

第4回/オンライン

ジェンダーとキャリア：

多様性と人権、そして構造的権力

授業全体の目的

・ジェンダー論に関する基本的な知識を理解し、それが自身のキャリアをデザインすることと、どのように関係するかを学ぶ。さらに、自身のキャリア・デザインが、他者や他人、親しい者たちや、制度とも深く関係することを、ジェンダー構造の理解を通じて理解する。

終了後の学生のイメージ

・性に関する多様性に関する理解に基づき、キャリアイベントをとらえることができるようになる。

・自らのキャリア・デザインの過程が、ジェンダー構造の構築に関わっていること理解することができるようになる。

進行の詳細（学習指導演）

所要時間	内容の詳細	備考・留意点他	資料
【5分】 【講義形式】	イントロダクション ①本日の予定の確認 ②受講上の注意事項	カメラなどの確認 資料などの確認	投影用資料 p.2
【15分】 【アクティブラーニング+講義】	0, 導入 ジェンダーとキャリアデザインの架橋にむけた問いかけ ①前回の授業との関係と事前課題 ②オンラインすごろくゲーム ③ライフイベントについて ④ジェンダー論 2つのポイント	ワーク1(事前課題) すごろくゲームでは、ライフイベントを見つける(課題へと発展させる) ワークシート 2	投影用資料 p.4-15 ワークシート1 すごろくシート

<p>【15分】 【AL+講義形式】</p>	<p>1, 何が問題か？ ジェンダー平等 について</p> <p>①説明(フォトランゲージ)</p> <p>②事例の紹介</p>		<p>投影用資料 p.16-20</p>
<p>【20分】 【講義形式】</p>	<p>2, ジェンダー論の展開 1</p> <p>①ジェンダー論(ジェンダーVS セックス図式)の出発点とその限界</p> <p>②ジェンダー論展開のきっかけ・・・セックスの多様性</p> <p>③性の四相と性の多様性</p>	<p>グラデュエーションの図の中に、様々なセクシュアリティを持つ人が位置づけられることを、パワポなどの資料を用いて、説明する。</p>	<p>投影用資料 p.21-39</p>

<p>【15分】 【講義形式】</p>	<p>3, ジェンダー論の展開 2 : LGBTis への配慮から SOGI の視点へ</p> <p>①SOGI の視点とは？</p> <p>②なぜ、SOGI の視点が重要なのか</p> <p>③マイノリティへの配慮は不要か？</p> <p>④再び・・・ ジェンダー平等 フォトランゲージ</p>	<p>性の多様性の要請とマイノリティへの配慮の関係について十分に丁寧に説明すること。一見すると矛盾するが、SOGI の視点を理解することにより、結び目が解けることを理解させることが肝要である。</p> <p>冒頭の絵で感じたことの変化について注意を促す。</p>	<p>投影用資料 p.40-50</p>
-------------------------	--	---	--------------------------

<p>【20分】 【講義形式】</p>	<p>4, 序列化と構造的権力としてのジェンダー・・・多様性の称揚のみでいいのか？ ①構造としての権力とアンコンシャス・バイアス ②序列化(ジェンダー論の2つ目のポイント) ③ジェンダー構造化のプロセス</p> <p>性のダブルスタンダード</p> <p>性別役割分業の強制 ④まとめ</p>	<p>ワークシート2の完成版(事後課題)</p>	<p>投影用資料 p.51-60 ワークシート2(事後課題)</p>
<p>【5分】 【講義形式】</p>	<p>5, 次回にむけて 課題の説明ほか 次回の連絡など</p>		<p>投影用資料 p.61</p>

【講義のススメ方について】

自らのキャリアのデザインと、ジェンダー論やジェンダーをめぐる様々な社会課題を結びつけるために、遠隔すごろくワークや、フォトランゲージなどの手法を用いている。時間が許せば、グループワークなどの形で、受講生相互の意見交換の場を設けることができれば、より効果的である。

また、LGBTへの配慮と差別の関係については、SOGIの視点を軸に理解させることが重要である。

